

医学部専門予備校 クエスト 解答速報

日本大学（2期）1次 英語 試験日3月4日（月）



【講評】

全体を通して3問難しいものが存在していたので解説をつけた。この3つに関しては間違えてしまっても合否には関わらない。もっと基本的なところがしっかり取れば問題ない。全体で8割ほどは取りたい。自己採点の結果はどうあれ、希望は捨てずに、二次試験に向けた医療形単語のインプットを始めてほしい。

I

(1)③ (2)② (3)③ (4)① (5)④ (6)②

【解説】

(3) his perspective が単数である以上 those は一見すると選びにくいですが、実は以下のような表現は文法上全く問題ない。

▶ The human brain is similar to those of apes.

（人間の脳は、類人猿の脳と似ている）

of 以降に apes「複数の類人猿」がきており、それぞれの ape 種が異なった brain を持っているはずなので、brains となる。それが those に置き換わっている。**前述の単数名詞を those によって複数形に変えて記述することができる。**

II

(1)① (2)③ (3)② (4)② (5)① (6)③

III

(1)② (2)① (3)③ (4)④ (5)① (6)②

IV

(19)③ (20)④ (21)② (22)③ (23)①

【解説】

(21) 一見するとかなり選びにくい。空欄直後の preventing the need for a robotic return trip 「ロボットによる往復宇宙旅行をしないで済むように」という分詞構文（理由）を受ける結果にあたる内容が必要だと考える。すると「人間は（宇宙の出先で）データの解析をし、ロボットによる往復宇宙旅行をしないで済むように、（その出先で）^{s p o n t a n e o u s} 予定していなかったフォロー・アップテストや実験ができる」という文脈が読み取れる。spontaneous を単語帳通りの「自然発生の」という覚え方をしていると選択するのがかなり厳しくなる。

V

(24)④ (25)④ (26)③ (27)③ (28)②

VI

(29)④ (30)① (31)③ (32)② (33)①

VII

(34)⑦ (④①③⑦⑤⑥②)

(35)③ (⑤①⑥③⑦②④)

(36)① (⑥②⑦①④⑤③)

(37)④ (⑦⑤②④⑥①③)

(38)⑥ (③⑤②⑥⑦④①)

(39)① (②⑦④①⑥⑤③)

VIII

(40)② (④①②⑤③)

(41)③ (②⑤③①④)

(42)③ (④②③⑤①)

(43)① (②⑤①④③)

(44)④ (②⑤④①③)

(45)② (⑤③②①④)

【解説】

(42) 関係代名詞節内が there is 構文（MVS 倒置）になっているので難しい。

▶ park rangers who there are ϕ to protect animals

(動物を保護するために存在している公園管理官)